

## 好奇心が刺激される本

植物も動物もエネルギーに満ち溢れる季節になりました。これを機会に、新しい知識を吸収してみませんか。思ってもみなかった世界が発見できるかもしれません。今回は、そんな好奇心が刺激される本をご紹介します。

1冊目は、てづかあけみ作・絵、「宇宙りょこうへでかけるえほん」です。

この本は、誰でも宇宙旅行ができる日が来たとき、何を知っておくべきかをテーマにした絵本です。宇宙での暮らしや宇宙服を着る順番、宇宙旅行での心構えなどが、鮮やかなイラストで描かれています。たとえば宇宙で暮らすと、身長が高くなります。これは無重力で背骨の間のクッションに負担がかからないためだそうです。他にも、宇宙開発の歴史や、月と火星の情報、宇宙旅行の種類なども掲載されています。近くて遠い星々にわくわくする1冊です。

2冊目は、山田康弘著、「「もしも？」の図鑑 縄文人がぼくの家に来ていたら!？」」です。

この本は、もしも縄文時代の家族が、現代の私たちの家で暮らすことになったとしたら、という切り口で昔と今の文化と生活の違いについて知ることができる本です。「もしも縄文時代の人々とバーベキューをしたら、どんな食材を持ってくるのか」、「もしも縄文時代の子どもが転校してきたら、成績や遊びはどうか」、「縄文時代の人々が喜ぶ薬局の薬は何か」など、様々な楽しい「もしも」が最新の調査・研究に基づいて解説されています。新しい視点で歴史が楽しめる1冊です。

3冊目は、五百田達成 (いおた たつなり) 著、「なんで水には色がないの？」」です。

この本は、子どもの素朴な質問を通して、実は知らなかった知識や意外と説明できない事柄について学び、考える本です。タイトルにもなっている「なんで水には色がないの?」をはじめ、「景気がいいってどういうこと?」、「なんでオリンピックは4年に1回なの?」、「ここはどこにあるの?」など、バラエティー豊かな質問が36個収録されています。図やイラストも多く、各質問は4ページほどなので、気になる質問から気軽に読むことができます。質問ごとに、人にわかりやすく伝えるためのポイントが記載されているので、質問好きのお子様への答えとしてもおすすめの1冊です。

今回ご紹介した本以外にも、図書館には様々な本があります。ぜひ、図書館にご来館ください。